

# 遠野 議会だより

No.60

令和2年1月

【発行】  
遠野市議会



## 冬休みこども工作教室

身近な食器を利用して  
生花教室を体験しました。



### 主な内容

- ◆ 12月定例会の概要 ..... 2
- ◆ 学んで行動する議会へ ..... 4
- ◆ 予算等審査特別委員会質疑 ..... 6
- ◆ 一般質問 10人市政を問う ..... 8

Facebook

マチイロ





- 【委員】  
 小松 正真  
 小林 立栄  
 菊池 由紀夫  
 荒川 栄悦

「遠野市議会ICT推進基本計画」を策定するため、特別委員会を設置した。

◆**発議案第5号**  
 タブレット導入等検討特別委員会の設置について

**特別委員会を設置**

くあることから、導入には慎重な議論が必要と考える。  
 安全・安心な公共交通サービスが提供される施策の推進を求めるとともに、ライドシェアの導入については慎重な審議を行うよう要望する。

**賛否の公表**

賛否がわかれた議案等についてのみ掲載します。

議案名																	
議案第50号	遠野市わらすっこ条例の一部を改正する条例の制定について																
議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小松 正真	佐々木恵美子	菊池 浩士	佐々木敦緒	佐々木僚平	小林 立栄	菊池 美也	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	安部 重幸	新田 勝負	佐々木大三郎
賛 否	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対。

審議結果は、遠野市ホームページで確認することができます。

遠野市議会 12月定例会 審議結果

検索



**12月定例会**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。市民の皆様も令和の元号における最初の正月を穏やかに過ごされたことと思います。早いもので一昨年10月の改選から一年以上が経過しました。新たに誕生した5名の議員も、一般質問はもとより、予算や決算等の特別委員会でも、市民の皆様への代弁者として積極的に発言しており、ベテランの議員もそれぞれの持ち味を活かしながら、市当局と対等に立場で活発な議論を交わしております。昨年は、ラグビーワールドカップが開催されました。小生も高校時代にラグビーをかけた人間として、選手のあのひたむきさを見るにつけ、物事に取り組む姿勢の在り方を改めて考えさせられました。それにあやかっ今年度の遠野市議会は、ワシントンチームで邁進しますので、市民の皆様への叱咤、激励をよろしくお願い申し上げます、年頭の挨拶といたします。

遠野市議会議長  
**浅沼 幸雄**

令和元年12月定例会を、12月3日から13日までの11日間の会期で開催しました。  
 一般質問は、10人の議員が登壇し、市政を問いました。市が提出した案件は全議案19件で、令和元年度補正予算関係2件、条例関係6件、その他11件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、最終日には、条例1件、補正予算1件が追加提案され、原案のとおり可決したほか、議員発議2件を可決しました。

**請願**

◆**請願第4号**  
 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願

〔請願者〕  
 岩手県医療労働組合連合会 執行委員長 中野るみ子  
 (不採択)

◆**請願第2号**  
 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るため、2020年度政府予算に係る意見書採択に関する請願

〔請願者〕  
 岩手県教職員組合花北遠野支部 支部長 高橋克典ほか1名  
 (趣旨採択)

◆**請願第3号**  
 ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願

〔請願者〕  
 一般社団法人岩手県タクシー協会 会長 川崎利治ほか6名  
 (採択)

**議員発議**

今定例会では、2件の議員発議案(意見書1件)が提出されました。

◆**発議案第4号**  
 ライドシェアの導入に対して慎重な審議を求める意見書の提出について

意見書  
 タクシー事業は、地域住民や交通弱者のための移動手段として大きな役割を果たしている。政府は少子高齢化という困難に立ち向かいながら、規制緩和による経済の活性化を推進しており、自家用車により有償で旅客運送を行うライドシェアなど、新たな交通サービスについても幅広く議論を進めている。しかしライドシェアは、法令上の課題が多

**反対討論**

佐々木恵美子 議員

現在のわらすっこ条例の条文には、不明確を感じる。例えば、「子育て期」との表現がある。これはどのような捉えたら良いのか。文言の精査、考え方や整理が必要な箇所、まだまだ見直す要素がある。私たち議員は、条文の理解を深め、共通の認識が必要と考える。  
 また、外国人材の受け入れが本格的にスタートする。外国人のお子さんに対する表記がない。じっくりと議論し、市民の子育てへの思いや願い、魂が込められた条例で温かい気配りと思いをのせ、市民のみなさんにご提示できるように望む。

**賛成討論**

菊池 美也 議員

わらすっこ条例は、子どもの権利を保障することを目的とした理念条例。「子育てするなら遠野」の基本的な考え方、姿勢や枠組みを示したものであって、具体的な数字やルールを定めた政策条例とは異なる。  
 制定から10年が経過し、社会情勢は大きく変化をしている。  
 本案の内容は、子どもを取り巻く環境の変化に即し、子どもの権利を保障し続けるために必要な「大人の責務」の改正。  
 10年先を見据え、理念条例の一部を創造・発展的に改正し、「子育てするなら遠野」の率直な想いを表現することに異を立てる理由は見当たらない。

**10月臨時会**

令和元年10月臨時会を21日に開催しました。

遠野健康福祉の里ポイラー設備整備工事の請負契約の締結について1件を審議し、原案のとおり可決しました。

**11月臨時会**

令和元年11月臨時会を19日に開催しました。

令和元年度遠野市一般会計補正予算及び教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについての2件を審議し、原案のとおり可決、同意しました。

# 学んで行動する 議会へ

## 市政調査会

〔研修日〕

令和元年11月11日

〔参加議員〕

17名

◆岩手県市議会議員研修会  
第1部は嘉悦大学教授の高橋洋一氏による「最近の政治経済情勢」と題する講演。

高橋氏が大蔵省時代に携わった政府のバランスシート作成の話から、社会保障制度、消費税、財政投融资など多岐にわたった。国の財政は借金の額でなく、バランスシート(財務諸表)で判断することが大切との指摘は、興味深かった。



第2部は、早稲田大学マニユフェスト研究所顧問の北川正恭氏が「自治体改革のための議員の意識改革」と題し、政治の近代史から地方議会の現在の課題について講演された。

「民意の代表が議会であり、市民に理解される議会組織に」との呼びかけを重く受け止め、議会活動の質を高め、充実させていくことが大事であると再認識した研修であった。

## 会派研修 遠野令和会

〔調査日〕

令和元年 11月12・13日

〔参加議員〕

照井 文雄

菊池 巳喜男

菊池 浩士

菊池 美也

瀧本 孝一

◆「2040未来ビジョン出前セミナーin青森」に参加

人生100年時代の課題は、  
○医療と介護の一体化  
○生活支援  
○地域の共生  
住民ニーズに沿った健康&ケアのまちづくりが求められる。



講師に中澤まゆみ氏(ノンフィクションライター)をお招きし、「一人暮らしの高齢世帯と在宅医療/介護」と題した講演が行われた。

◆八戸市、地域担当職員制度の成果は

地域担当職員制度による、地域コミュニティの振興策について話を伺った。成果は、地域と行政の情報共有が進んで連携が促進されたこと。「行政との距離が縮まった」「この制度がないと行政と地域との信頼関係が無くなる」等の声が市民から寄せられた。

一方で課題は、職員の活動に公私の区別がつきにくいとのこと。当局においても、小さな拠点による地域づくりを推進するうえで、市職員がパイプ役として身近な窓口となり、支援する仕組みは有効である。

地域と市職員の信頼関係と相互理解の深まりを期待する。

## 教育民生 常任委員会 行政視察

〔調査日〕

令和元年

10月16日〜18日

〔調査研修箇所〕

・北海道上川郡新得町 農事組合法人

「共働学舎新得農場」

・北海道河東郡上士幌町「かみしほろ学園

(コミュニティスクール)」

〔参加委員〕

菊池 美也

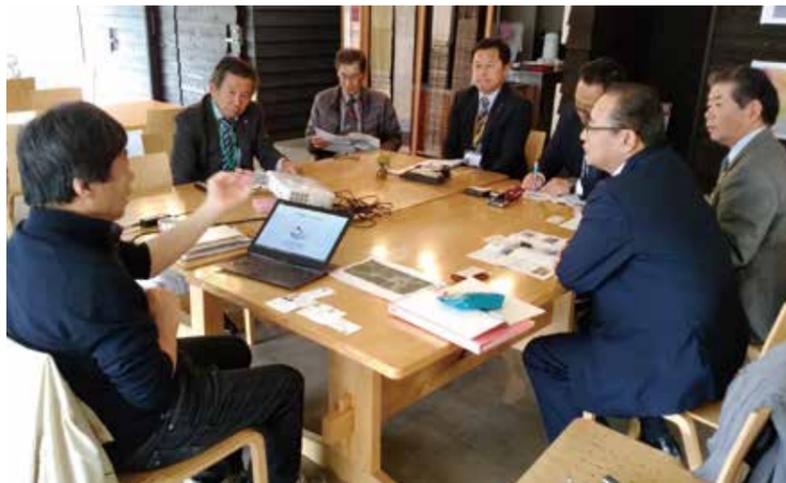
菊池 浩士

佐々木 僚平

萩野 幸弘

菊池 巳喜男

浅沼 幸雄



共働学舎新得農場で宮嶋代表より話を聞く

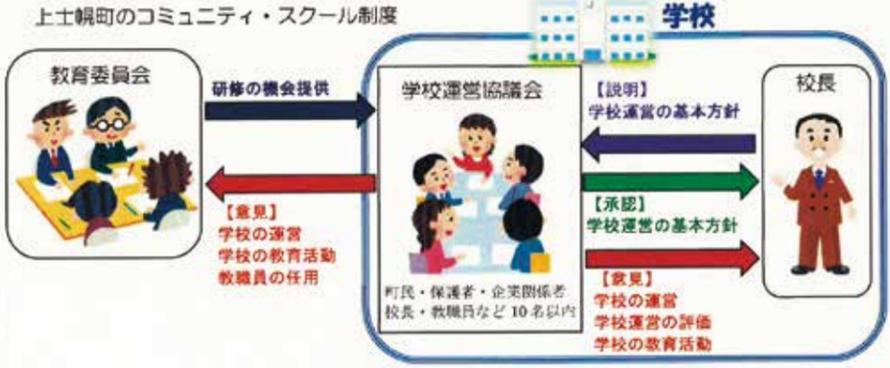
◆農福連携による障がい者雇用と独立自活の取り組みについて  
農福連携の先駆的取り組みをしている共働学舎の理念は、一人ひとりの個性に応じた仕事で経営を成り立たせる事。共働学舎の農福連携は、農業経営者が障がいの有する人を

雇用して共に働き、作業を手助けしてもらいことではなく、いろいろな理由から社会での居場所を見つけれない人達が農業をする事で自立をはかっている。今後目指すべき方向のひとつであると考えている。

◆「かみしほろ学園(コミュニティスクール)の取り組み

上士幌町では、地域総ぐるみで子どもの育ちに関わる仕組みとして町内各学校に町民、保護者、企業関係者、学校関係者で構成する学校運営協議会を設置している。

『かみしほろ学園』とは、町内全学校を総括する理念学園の呼称で、学校運営協議会同士の交流や情報交換により、教職員の負担軽減や学校と地域との交流に成果をあげている。特徴的なのは、コミュニティスクール(CS)コーディネーターの配置であった。CSコーディネーターは学校と



地域のパイプ役となり、連絡調整から事業の企画立案実行など、柔軟に幅広く活躍している。『かみしほろ学園』が上士幌町内の全学校をコーディネートする体制は、大変有効な仕組みであると感じた。

## 市民の声

むし歯予防の実践効果を期待しております。「むし歯の少ない遠野の子ども」遠野の誇りとなります様に。  
(東館町、89歳、女性)

高齢者運転免許証自主返納については、他人事ではないので、足の確保はちゃんと考えてほしい。  
(鶯崎町、65歳、女性)

問に対しての答えがわかりやすく、写真など回をますごとに、目を通す様になりました。  
(土淵町、52歳、女性)

# 予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長多田勉議員、副委員長照井文雄議員）は、条例6件、予算2件、その他11件について付託を受け、審議を行いました。  
その結果、全19議案を原案のとおり可決・承認しました。

## 子育てするなら遠野 第2ステージへ

**問** わらすっこ条例の一部を改正する理由は。

**答** 市民それぞれの役割の中で、子どもの健全やかな成長を願い見守っていく根拠となる理念条例。制定から10年が経過し、子どもを取り巻く環境の変化に合わせて改正する。新たな条例・プラン・基金の3本柱で取り組む。

**問** 子育て家庭への支援を「きめ細かな支援」と条文変更した。また「事故や災害等の未然防止と子どもの安全確保の努力義務」も条文に盛り込んだ。プランの中で、具体的な施策、対応に取り組みたい。

**答** 子育て家庭への支援を「きめ細かな支援」と条文変更した。また「事故や災害等の未然防止と子どもの安全確保の努力義務」も条文に盛り込んだ。プランの中で、具体的な施策、対応に取り組みたい。

**問** 子どもの権利や大人の責務について、子ども達自身が内容を知らなければならない。

**答** 学校と連携しながら、人権擁護委員による人権教室を開催して



今年10年目を迎えた遠野市わらすっこ条例。市内の代表児童生徒が未来の遠野市を語り合います

子ども達が、自分たちの命、他の人の命を守るという理念を達成するために人権教育は

大事だと考えている。  
**問** わらすっこプラン推進事業費の増額の内容は。

**答** わらすっこ条例の増額の内容は、3つの牧場の指定管理料の増である。利用料と経費の差額不足分である。

**問** この補正額は、3月定例会で否決となつた。

## 市宮牧野 放牧頭数の確保策は

**問** 市宮牧野管理事業費（573万5千円）の増額の内容は。

**答** 3つの牧場の指定管理料の増である。利用料と経費の差額不足分である。

**問** 放牧頭数を確保する努力をすべきでは。

**答** 今年度から牛の検診は、生産者の負担軽減を考慮して関係者のみでおこなっている。さらに、牧野管理の向上に努めていく。

## 小中学校のエアコン 工事費が増額

に諸手続きを踏みたい。令和2年6月末までに設置工事を終え、市内全小中学校の環境が整えられるよう準備をすすめたい。

## こども本の森構想

市の、11月19日の議員全員協議会において、建築家安藤忠雄氏からの提案を受け、「まちなかの古民家」を活用した「こども本の森」の施設整備実現に向け、「こども本の森構想検討委員会」を設置する方針を固めたと報告した。

**問** 倍近い工事金額になる理由は。

**答** 当初の予算は、文科省が基準として示した機種で計算したものであった。改めて遠野の気候や各学校施設に考慮し熱負荷などを計算したところ、暖房能力の不足が判明した。それに伴い、電気設備増設が必要となり3月当初と大幅に差額が生じる見込みとなった。

**問** 今後の予定は。

**答** 平成30年度繰越分は、本年度3月中旬までの工期で発注済み。今補正予算分は、早急

との思いから、岩手、宮城、福島の被災地に、「こども向け本の施設」をつくりたいと提案していたが実現していなかった。施設整備場所は、一日市の「旧三田屋」を予定しており、令和3年3月完成を目標にしている。

**問** 建設に係る費用は。

**答** 安藤忠雄建築事務所がほぼ全額を負担することになっている。解体した後、使える部材で昔ながらの雰囲気壊さない形で建て替える。

**問** 旧三田屋を選んだ理由は。

**答** 複数の候補地から安藤忠雄氏が旧三田屋を希望した。

**問** 昨年11月に住民説明会を開催し地元住民も喜んでいる。また、プロジェクトに携わった方々にも「こども本の森構想」が、これまで進められ

てきた旧三田屋プロジェクトの方向性と同じことを確認いただき、理解を得ている。

にも協力を要請していく。利用方法、運営方法などを検討し、実現させたい。



旧三田屋を視察する安藤氏







佐々木 敦緒 議員

一問一答方式

### 本市の基幹産業、農業の振興について

市長：…水田農業等農業振興の

支援策を検討する

問……………

旧遠野市の農業生産額は100億円を超した時期がある。平成17年旧宮守村の30億円と合わせてスタートし、さらに伸ばさなければならぬところ、平成30年度に半減した。その原因は何か。

問……………

中山間直接支払や多面的機能支払の組織解散などが報道されている。

答(市長)……………

問……………

平成30年度76億8千万円と減少した。要因として人口減少、高齢

助成内容、助成金額も地域ごとに設定が可能だ。地域の意見も反映し、生産者の意向向上につながるよう見直しを図る。



水田を面的に集約し酪農家は、飼料作物デントコーンを作付け



冬季間閉鎖の仮設トイレ、このままでいいのでしょうか

化もさることながら、和牛・乳用牛が減少した畜産の動向が大きく影響している。

飼料用米への転換が必要だ。誘導のため経営所得安定対策産地交付金に市で単独補填し、上乗せを図る等独自の施策が必要では。

問……………

縦割り行政の弊害を感じる。設置例は柏木

問……………

答(市長)……………

早瀬川河川緑地公園グラウンドには選手用ベンチに屋根もなく熱中症が心配される。また、常設の公的施設にも関わらず仮設トイレのままで子供たちは不便と不潔を感じている。水洗トイレの整備が必要では。

県では固定トイレの設置は、河川敷の外にこのことであったが、用地の確保が困難と判断する。簡易屋根は設置が可能である。

答(市長)……………

利用者は休日等に限られ、衛生面や使用面で周辺に問題を生じさせていない。

### 早瀬川緑地公園の施設向上・整備について

市長：…利用者の方々に必要な対応は行う



小松 正真 議員

一問一答方式

### 一般社団法人遠野ふるさと公社について

市長：…本年度は黒字計上できる

問……………

遠野ふるさと公社の今年度債務超過の可能性はあるのか。

答(市長)……………

債務超過の可能性はないと考えている。

問……………

本年度の退職者とその理由は。

答(市長)……………

本年度は8名退職さ

問……………

れている。うち2名が定年退職、6名については、自己都合の退職。

問……………

現在の経営体制で将来のビジョンが見えてこないから退職しているのではないか。

答(市長)……………

自己都合ということでは事情があつてお辞めになられたものと思つている。

問……………

以前より、一般社団法人を株式会社化した旨のお話は出てきていた。メリットが無いのか伺う。また、その理由は。

答(市長)……………

公益性と収益性をどのように確保するかが課題ととらえている。収益を上げるために株式会社化が必要。また、資金調達がしやすくなることと、役員も明確になるメリットがあると考えている。

問……………

今回示された経営改革3か年計画は、令和2年から令和4年度ま

### 市長にとってふるさと公社とは

市長…十分すぎるぐらい責任を自覚しながら取り組んでいる

問……………

これまで赤字を出してきたこと、また仮に本年度、昨年度同様の赤字を出すことになれば出資金は返ってこないことになる。理事長である市長は責任をどのように考えているか伺う。

答(市長)……………

公社の理事長として常に責任を感じている。一次産業の活性化を図るとともに、7億円市場を堅持する。また、それらを次のステージにもつていくことで責任を果たしていきたい。



風の丘の川徳店 売り場面積が増えました



萩野 幸弘 議員  
(遠野令和会)

一問一答方式

## 人口維持政策の現状と今後の見通しは

**市長**：…厳しい状況続くが市民協働で新たなステージを作る

**問**……………

人口ビジョンの2040年2万人維持目標は達成できる見込みか。

域づくりの取り組みについて、住民主体や市が応援に回ることへの不安があるのでは。

**答(市長)**……………

様々な施策を通じ努力しているが、目標達成は困難な状況。

**問**……………

小さな拠点による地

より多くの市民理解が必要と再認識し、現在行政区、自治会単位での地区勉強会を開催している。今後も地域に負担を押し付けることのないよう、丁寧な説明と十分な話し合い



人口減少の右肩下がり阻止することが急務

を続ける。

**問**……………

人口維持に向けた交流人口拡大政策に関する可能性は。

**答(市長)**……………

遠野への来訪者は「観光・レジャー」目的が多く、交流人口から定住人口へ移行できる可能性があると考えられている。まずは「初回来訪者」を増やし、定住に至る段階を経たアプローチが必要だ。

## JR遠野駅舎解体合築に係る基本計画調査の状況は 市長…令和2年6月ごろには検討結果を公表したい

**問**……………

JR遠野駅舎解体の理解を得るには、先ず耐震補強が不可能という科学的根拠を明らかにすべきでは。

**答(市長)**……………

耐震補強技術は非常

に進行しており、建物そのものの保存は可能と推察できる。しかし、耐震補強後の活用方法、バリアフリー化等も重要で、単に耐震補強が可能か否かの是非を論点とすべきでない

と判断している。

**答(市長)**……………  
10月検討結果報告を受け、改めてJR盛岡支社の運輸部と企画部に對し、  
①計画年数短縮  
②コストダウン  
③運営方法を含めた事業可能性  
の3点について再度検討を申し入れており、令和2年6月頃には結果が明らかとなる見込みだ。

**問**……………

現在JR関連会社に委託している基本計画調査について、現時点で公表できる内容は。



解体跡地に同規模新築が計画されている JR 遠野駅舎



菊池 美也 議員  
(遠野令和会)

一問一答方式

## 社会教育として発信するコミュニティスクール

**教育長**：…学校と地域が連携・協働して、子ども達を育むことは、必要な取り組みである

**問**……………

市立学校を取り巻く教育環境の課題は。

**問**……………

コミュニティスクールについて、どのように考えているか。

**答(教育長)**……………

新学習指導要領の対応に加え、「いじめ」や「不登校」等の指導上の課題など、学校の役割は益々大きくなっている。保護者や地域、関係機関や団体の協力を得なければ解決が難しい複雑化・困難化した課題が見られる。

学校を取り巻く諸課題に対応するため、学校の機能強化のひとつと認識している。子ども達が生きる力を育み、地域の方々が自己有用感を感じられるなど、相互補完的な成果も期待できる。

**問**……………

遠野ならではの取り組みを考えているか。

**答(教育長)**……………

市民憲章で謳っている「恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちづくり」が、遠野の強みである。地域のことを地域の方から教わり、子ども達が遠野を知り、遠野に誇りを持ち、自らのキャリアを形成していく営みをより一層促していくことが大切だと考える。

## コミュニティスクールの成果物 教育長…児童生徒の「生きる力」、大人の自己有用感と地域の絆



教育民生常任委員会は、上士幌町を視察しました。(P5 参照)

**問**……………

推進するにあたっての課題と解決策は。

**答(教育長)**……………

地域と学校の協働の温度差や、小さな拠点づくりの範囲と小学校区が異なる地域が存在していることなど、それぞれの地区の学校運

営への関わりについて改めて考えなければならぬ。時機を捉えて広く周知を図り、地域と学校のより望ましい連携・協働を進める。

**問**……………

遠野らしいコミュニティスクールの取り組みを支援学校・高校などへ展開する考えは。

**答(教育長)**……………

「子育てするなら遠野」ならではの取り組みとして、市内の県立学校や保育園などとも理念や情報を共有し、連携できるように検討する。

※コミュニティスクールとは  
保護者や地域住民が一定の権限を持つて運営に参画する、新しいタイプの公立学校。



佐々木 僚平 議員

一括質問方式

### 市民・患者が安心できる県立総合病院へ 市長……今後も県立遠野病院との連携を行う

問……………

県立遠野病院の労働環境の実態についてどう捉えているか。

答(市長)……………

県立遠野病院が働き方改革の一つとして「外来と病棟看護の一元化」に取り組んでいること、また「県立遠野病院の看護師離職相次ぐ」といった内容の報道が出されたことは、認識している。こ

のような状況を鑑みると、現在の県立遠野病院は「働き方改革」の実行にあたっての過渡期にあるものと認識している。

問……………

市内唯一の県立病院が市民にとって安心できる病院になるための取り組みは。

答(市長)……………

市は、県立遠野病院における医師確保、医

療技術の向上等を図るため、医療環境の整備に関する事業経費の支援を行っている。今後においても、県立遠野病院と連携し、医師確保・定住に取り組んでいく。

問……………

市民の不安払拭のための周知徹底の必要性は。

答(市長)……………

県立病院では院長を



働き方改善が求められる「岩手県立遠野病院」

### 補聴器の公的補助について

### 市長……「遠野市補聴器給付事業」を継続していく

問……………

補聴器普及の対策については。

答(市長)……………

聴覚障がい者に該当せず、法制度による補聴器の給付が受けられない「軽度の難聴」の方を支援するため、本市の独自事業である「遠野市補聴器給付事業」を継続し、「軽度難聴」の方の日常生活の援助に努め、福祉の増進を図ってまいります。

### 手話言語条例の制定を

### 市長……急がなければならないと認識している

問……………

手話は、手や指、体などの動きや顔の表情を使う、独自の語彙や文法体系をもつ言語。「手話は言語である」と基本理念を掲げ、手話が必要とする人が手話を使って暮らし、ろう者と聴者が共に生きる地域づくりを推進するため、その基本となる手話言語条例を制定するべきと考えるが。

答(市長)……………

聴覚障がい者の自立と社会参加の実現を目指すことを目的とする「全国手話言語市区長会」へ入会した。聴覚障がい者や支援者など、市民や関係者の意見を伺いながら検討したい。

問……………

手話や手話言語条例を、共に学び検討する体制を整備して、制定に向け取り組むべきでは。

### 読書活動のさらなる推進を

### 教育長……読書意欲の向上と利用促進を図る

問……………

行政と多くのボランティアが連携した読書活動の取り組みを評価している。企業や事業者と連携した※1読書通帳・※2書籍消毒機の導入、※3ビブリオバトルの開催、※4レファレンスサービスの周知と利用促進で、さらなる充実を図っては。

答(教育長)……………

読書通帳・書籍消毒器については、他市の導入の経緯、導入後の読書活動の推進や利用促進の状況、効果や有効性を調査・検証し、企業や民間との連携も視野に対応したい。またビブリオバトルを含め、読書会やブックトーク等の実施を通し

て、読書意欲を高める取り組みも進めていく。レファレンスサービスの利用については、窓口への掲示やホームページへの掲載等を行い、より一層利用者への周知を図りながら、利用状況に応じた体制づくりに努める。

- ※1 読書通帳とは  
図書の出入履歴を記録しておく手帳の総称。自書タイプ、お薬手帳タイプ、預金通帳タイプがある。
- ※2 書籍消毒機とは  
紫外線や送風で書籍を殺菌消毒する機械。
- ※3 ビブリオバトルとは  
お薦めの一冊を持ち寄り、ルールに従って魅力を紹介し合い、多数決で読みたくなった一番の本を決定する知的書評合戦。
- ※4 レファレンスサービスとは  
図書館が行なうサービスの一つで、利用者の問い合わせに応じ、図書の紹介や検索をする業務。



小林 立栄 議員

一括質問方式

その他の質問

- ICT (情報通信技術) 利活用の推進を



「手話は言語(言葉)」社会全体で理解・認識し合う必要があります。



佐々木 恵美子 議員

一問一答方式

### 市外医療機関利用 負担についての見解は

**市長**：…金銭的、肉体的、精神的負担が大きいと理解している

**問**……………

高齢者本人や家族が市外医療機関を利用する際の負担についての見解は。

**問**……………

青森県では県の官舎を患者本人や家族のための宿泊として活用している事例がある。

**答**(市長)……………

市内の高齢率39.4%であり、遠方での受診は、交通手段や金銭的な不安、精神面などでも高齢者に限らず負担も大きいと理解している。

**答**(市長)……………

青森県の事例は承知している。交通弱者、通院弱者の方々へどのように向き合うかは、検討課題として捉えたい。

**問**……………

産院がない、市内妊産婦の出産リスクについての見解は。

**答**(市長)……………

助産院ねっと・ゆりかごの助産師による健康相談、助言など出産サポートをしている。妊婦検診の交通費の助成で経済的な負担軽減を図ってきた。また、救急隊員全員が「新生児心肺蘇生資格」の取得で対応スキルアップに努めている。救急車に携帯型の分娩監視装置の設置も検討している。

**問**……………

出産直前に、産院近くに宿泊する際に対して、費用助成している自治体があるが。

**答**(市長)……………

多くの妊産婦は、リラックスした環境の中

で過ごしたいという報告もあることから、ベターな仕組みづくりに取り組んでいく。

**問**……………

市の単独事業だけでなく、広域市町村、関連機関で連携して仕組みづくりを求めたい。

**答**(市長)……………

妊産婦の方が、安心して向き合うためには、新たな一つの仕組みも作っていかねばならない。選択肢の一つとして、考えなければならぬ課題と捉える。



患者・家族向け宿泊施設ファミリールームあおもり

### 地域交通の構築を早急に求めたい

**市長**…どのようにしていくか、作業を加速していく

**問**……………

地域住民による地域交通の確立の進捗状況は。

**答**(市長)……………

いくつかの地区が検討をすすめる、移動販売車の誘致、買い物代行事業、健診タクシーの運行、買い物バスの試験運行など、取り組みを模索している。引き続き支援をしていきたい。

**問**……………

地域住民、交通事業者、学校、福祉、関係団体が総参画し、連携した交通体系の構築が必要では。

**答**(市長)……………

路線確保だけでなく、生活交通の確保をどのようにするかという点について、作業を加速させていく。



多田 勉 議員

一問一答方式

### 鱒沢地区センター整備の進捗状況は

**市長**：…定住人口の確保も含め総合的検討を進める

**問**……………

平成31年度に土地買収し、現在は更地の状況から進んでいないが、鱒沢地区に対する認識をどう捉え、今までの地区協議による合意形成をどう受け止めているのか伺いたい。

**答**(市長)……………

鱒沢地区センターを平成28年度に設置し、「鱒沢地区センター整備検討委員会」からの提言書が提出された。

平成29年度から整備事業に着手し、9月に用地取得が完了、現在新築設計業務を進める段階にある。また、敷地全体の活用で定住人口の確保機能など総合的に検討しており、「小さな拠点による地域づくり」の視点から、鱒沢地域と密着した体制をとる認識で考えている。これからも住民に相談し、これまでと今後のプロセスを大事にして進めていく。



早い整備が望まれる鱒沢地区センター建設予定地

### 計画見直しに(仮称)遠野市農業指導センター設置を

**市長**…既存事業検証で課題解決に取り組む

**問**……………

農林水産振興ビジョンの見直しが必要と考えるが、計画見直しには的確な現状把握が必要であり、農家と向き

**答**(市長)……………

5年後を見据え、農家所得向上を図るため各事業に取り組んでいる。次期農林水産振興ビジョン策定に向け、令和2年度に既存事業を検証し、現状にあった計画にしていこう。職員相互の情報共有で課題解決に取り組んでいる。ワンストップで対応できる組織の立ち上げも大きな課題であり、検討を進めていく。

# わたしのひとこと



菊池 政光 さん  
(小友町)

遠野高校を卒業後、宇都宮市にある装蹄教育センターで装蹄師の資格を取得して早20年が経ちます。小さい頃から馬が好きで、馬に携わる仕事、手に職をつける事が出来て幸せに感じています。それと同時に平成23年から、遠野市乗用馬生産組合に加入して乗用馬生産もしています。

現在、乗用馬生産組合も高齢化が進み、組合員が著しく減少しています。確かに、乗用馬生産だけでは生活できません。先人達は、馬が好きで家族同様に暮らしてきた背景があります。それ故に、若い人達に「馬を飼おう」「生産しよう」なんて事は言えません。

しかし、この遠野から、乗用馬生産・馬事文化を無くしてはいけないと思います。

今、遠野馬の里・遠野市・乗用馬生産組合で様々な案を出して、遠野で乗用馬生産・馬事文化を継承していけるよう取り組んでいます。私も先頭に立ち、遠野の馬業界を盛り上げていくので『若い力』を待っています。

このコーナーは、市民の皆様のまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

明けて  
おめでとございませう。  
新しい年は皆さまにとって良  
い年になるように祈念致します。  
12月定例会は、時間をかけて  
議論できたと思いますが、その  
中で、紙面を通じて何をお伝え  
できるのか悩んだ部分が多かつ  
たと思っています。限られた紙  
面で何をどのように発信すれば  
いいのか非常に難しいもので  
す。市民の皆さまが関心あるも  
のをできるだけ詳しく載せられ  
るように努力しています。

## 編集後記



再放送されています。また、会  
議録も定例会毎に作成され、ホ  
ームページ等で公開もされてい  
ます。しかし、簡単により多く  
の市民の皆さまに見ていただけ  
るのは議会だよりです。故に、  
誤りの無いよう記事にすることに  
が望まれていると思います。  
これからも公平公正の立場か  
ら行政をチェックするとともに  
、市民生活の向上のために邁  
進してまいります。皆さまの声  
をお聞かせください。  
(新田)

### 広聴広報常任委員

- 委員長 小林 立栄 ■副委員長 佐々木 恵美子
- 委員 小松 正真・菊池 浩士・菊池 美也・新田 勝見

## とのおの 議会だより クイズ

●欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 「今年の遠野市議会はワン●●●で邁進します。」
- その② 遠野のわらすっこが安心して元気に育ち、そして未来の遠野市を担ってほしいという願いをこめてつくられた●●●●●条例、制定から10年が経ちます。
- その③ 教育民生常任委員会の行政視察テーマの一つでした。  
「●●連携による障がい者雇用と独立自活の取り組みについて」

ヒントはこの中に!

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号 遠野市議会事務局 宛

《メールでも応募できます!!》 [gikai@city.tono.iwate.jp](mailto:gikai@city.tono.iwate.jp)

《しめくり》 令和2年2月14日(金) (当日消印有効)

～議会だより59号クイズの答え～  
その① 指定 その② 遠野 その③ 高齢化

議会への提言をお待ちしております!

## 遠野議会だより

No.60

【発行責任者】遠野市議会議長 浅沼 幸雄 【編集】広聴広報常任委員会

〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号  
ホームページ <http://www.city.tono.iwate.jp/>  
Facebook <https://www.facebook.com/tonoshigikai>

TEL 0198-62-2111  
E-mail [gikai@city.tono.iwate.jp](mailto:gikai@city.tono.iwate.jp)

【印刷】株式会社 東海印刷所

